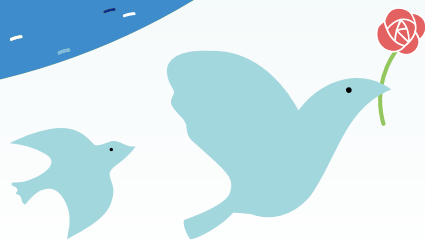


MITO SHINKIN BANK

もっと「みとしん」を知っていただくために



REPORT
2021



MITO SHINKIN BANK

REPORT 2021

CONTENTS

はじめに

ごあいさつ	2
みとしんの概要	3
「中期経営計画 2022」について	5

お客さまと共に

法人のお客さまの成長・発展のために	7
個人のお客さまの豊かな生活のために	9
地域社会の持続的発展のために	11
地域のお客さまとの信頼関係を 深めるために	12
職場環境の充実とお客さまに信頼される 人財の育成のために	13

みとしんの経営体制

業績ハイライト	15
内部管理態勢	17
法令等遵守（コンプライアンス）	19
顧客保護	20
総代会制度	23
管理方針等	25
組織・役員	27
沿革	28
信金中央金庫のご紹介	29

ネットワーク

店舗のご案内	30
店外CD・ATM、営業地区のご案内	33
主な手数料のご案内	34

ごあいさつ



理事長 埜 由博

平素は、私ども水戸信用金庫に格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

本年もディスクロージャー誌「水戸信用金庫レポート2021」を作成いたしました。本誌では、私どもの取り組み、サービスの内容、最近の業績等を掲載しております。

ぜひご高覧いただき、当金庫に対するご理解を深めていただければ幸甚に存じます。

●令和2年度の経済環境

令和2年度の日本経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が大きく制約され、景気が大きく落ち込んだものの、経済活動の再開やワクチン接種の進展により、持ち直しの動きが見られています。

金融情勢は、日本銀行が金融緩和を継続したことから、長短金利ともに低い水準で推移しました。

当金庫の主な営業エリアである茨城県の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある中で、生産や雇用を持ち直しの動きが見られるものの、個人消費において一部に弱さが見られるなど、全体としては弱い動きになっております。

当金庫のお取引先のお客さまにつきましては、経済活動が再開するもとで徐々に業況を持ち直しているものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、今後も厳しい状況が続くものと見込まれます。

●令和2年度の業績

「中期経営計画2022」の初年度にあたる令和2年度は、目指すべき金庫像である「お客さまと共に考え、共に行動し、共に成長することにより、お客さまと喜びを分かち合い、お客さまから揺るぎない信頼と支持を得る。」の実現に向け、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動が制限される中で、地域のお客さま一人ひとりに寄り添い、お客さまとの信頼関係を深めるとともに、お客さまに満足いただける商品・サービスの提供に取り組んでまいりました。

その結果、おかげさまをもちまして、業績は堅調に推移し、経常利益13億円、当期純利益10億円を計上することができました。これもひとえに皆さまのお力添えの賜物と深く感謝しております。

●事業の展望

令和3年度は、「中期経営計画2022」の2年目にあたり、計画の達成に向けて足場を固める重要な1年になります。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で、昨年に引き続き地域のお客さま一人ひとりに寄り添い、お客さまとの信頼関係を深めるとともに、お客さまのよき相談相手となることで、お客さまの抱える悩み、課題等にきめ細やかに対応してまいります。

みとしんは、これからも、お客さまにとってもっとも身近な金融機関として、お客さまとの絆を深め、お客さま一人ひとりの夢の実現と地域経済の発展に努めてまいりますので、今後とも更なるご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月